

令和6年度 横浜立野高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、組織的な確認作業により、個人情報保護や情報管理に係る事故の未然防止を図る。	<p>○メール等個人情報管理に対する県の規定（保護者通知・登録等）を遵守した。</p> <p>○特に、令和6年5月、7月及び9月に全職員を対象とした不祥事防止研修を実施し、情報管理についての意識向上を図るとともに、県の規定に基づいた適切な運用を再確認した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
法令遵守意識の向上	教育公務員として、常に高度な行為規範を意識し、倫理意識の向上に努め、校務外非行を根絶する。	<p>○県からの資料を活用し、これまでに発生した不祥事の事例を踏まえながら、様々な機会を捉えて職員全体に注意喚起を促し、職場全体の意識向上を図った。</p> <p>○特に、令和6年8月、令和7年2月に全職員を対象とした法令遵守、服務規律保持に関する不祥事防止研修会を実施し、不祥事根絶に向けた取組みを指示した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
わいせつ、セクハラ行為の防止	モラル意識を高めると同時に、携帯電話や電子メール等の不適切な使用を防止し、セクハラ、わいせつに係る不祥事の根絶を図る。	<p>○ハラスメントは重大な人権侵害にあたる行為であるという意識を高めるとともに、日頃から自らの言動や行動に注意する態度を身に付け、人権感覚を磨くことを確認した。</p> <p>○教職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われるような組織づくりを行うとともに、どんなことでも相談できる風通しの良い職場づくりに努めた。</p> <p>○メール等個人情報管理に対する県規定（保護者通知・登録等）を徹底した。</p> <p>○特に、令和6年5月、8月及び12月に全教職員を対象としたわいせつ・セクハラ行為防止に関する不祥事防止研修会を実施し、不祥事根絶に向けた取組を徹底した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
体罰、不適切指導の防止	体罰は子どもの人権や子どもと教職員との信頼関係を根底から崩すものであるという意識を職場全体に浸透させ、体罰や不適切な指導の根絶を目指す。	<p>○教育相談コーディネーター及びスクールカウンセラーとの連携を強化して相談窓口を設けることにより、生徒がどんなことでも気軽に相談できる相談体制を構築している。</p> <p>○特に、令和6年7月及び令和7年2月に全職員を対象にした体罰、不適切な指導防止に関する不祥事防止研修会を実施し、体罰や不適切な指導が生徒の人権に係る重大な問題であるという意識を職場全体に浸透させた。</p> <p>【目標は達成できた】</p>

成績処理・進路関係書類の作成・取り扱い及び入学者選抜に係る事故防止	成績処理、通知表、調査書等作成及び入学者選抜に係る事故防止のために組織的な確認作業の徹底を図る。	<p>○成績処理期間前に、点検マニュアルや作業マニュアル等に基づいた作業手順や注意点について徹底した。</p> <p>○特に、令和6年11月に成績処理に関する不祥事防止研修会を実施し、これまでのヒヤリ・ハット事例を取り上げながら、全職員が統一されたルールに則り、慎重に処理を進めることを確認した。</p> <p>○令和6年9月には、指定校推薦等の校内選考や調査書作成に係る作業手順や注意点について共通理解を図るとともに点検・確認を徹底した。</p> <p>○令和7年1月に全教職員を対象とした入学者選抜に係る不祥事防止研修会を実施し、採点誤り等の事故防止を徹底した。 【目標は達成できた】</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高め、交通事故、酒酔い・酒気帯び運転等の未然防止を図る。	<p>○令和6年12月に全職員を対象とした不祥事防止研修会を実施し、特に年末を迎えて酒気帯び運転等交通安全に関する資料を示して研修を実施した。 【目標は達成できた】</p>
会計業務等の適正執行	「私費会計事務処理の手引き」を再確認し、適正な執行に努める。	<p>○令和6年10月及び令和7年2月に全職員に適切な会計処理について共通理解を図るとともに、全職員を対象とした不祥事防止研修会を実施し、私費会計について理解を深めた。 【目標は達成できた】</p>

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

「成績処理、進路関係書類の作成・取り扱い及び入学者選抜に係る事故防止」を最重要項目として位置づけ、徹底した点検・確認を実施した。あわせて、わいせつやハラスメントに係る不祥事は、生徒の一生を左右してしまうのだという認識を全職員が共有し、常に危機意識を持って取り組んでいく。